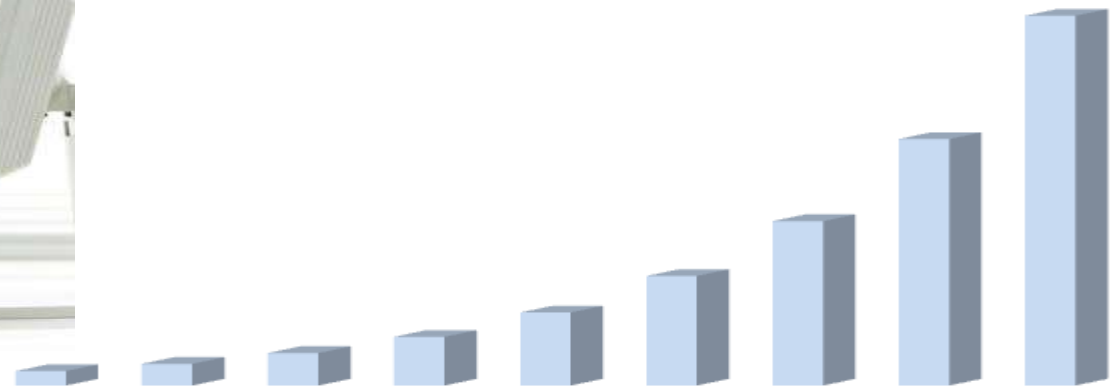


2023年12月期 決算説明資料

ソフトマックス株式会社

東証グロース 証券コード：3671





- 1 会社の近況及びトピックス
- 2 業界動向（医療DXの進展）
- 3 2023年12月期業績
- 4 2024年12月期業績見通し
- 5 今後の戦略

<ご参考資料>



- 1 会社の近況及びトピックス
- 2 業界動向（医療DXの進展）
- 3 2023年12月期業績
- 4 2024年12月期業績見通し
- 5 今後の戦略

<ご参考資料>

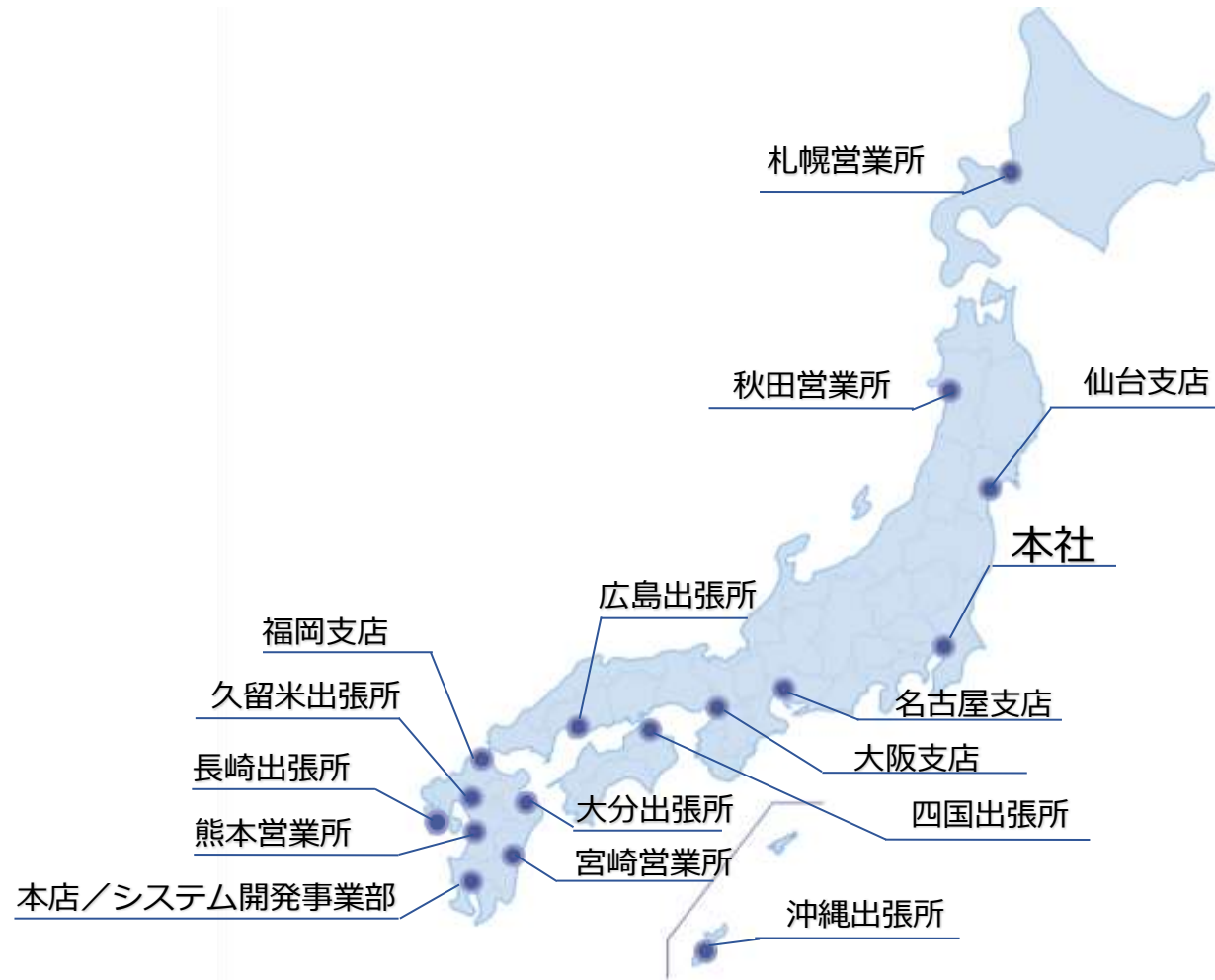
2023年	3月	東証上場10周年	(上場直前2012年12月期決算より 売上高34%、当期純利益167%増)
	5月	譲渡制限付株式発行	(発行済株式総数、資本金が増加)
		第1四半期決算発表	(増収増益)
	8月	仙台支店開設	(日本経済新聞東北版に記事掲載)
		第2四半期決算発表	(増収増益)
		11月	第3四半期決算発表
	12月	代表取締役社長異動発表	(2024年1月より堀江俊郎)
2024年	1月	会社創立50周年	(新社長、新組織でスタート)
	2月	2023年12月期決算発表	(増収増益)
		売上高	52億6073万円
		当期純利益	4億5277万円
		受注高	41億5773万円

いずれも
上場以来 過去最高

本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー7階
本店	鹿児島市加治屋町12-11
設立	1974年1月
上場市場	東京証券取引所グロース
資本金	442,250,576円
代表者	代表取締役会長 野村 俊郎 代表取締役社長 堀江 俊郎
従業員数	227名(2023年12月31日現在)
事業内容	Web型電子カルテシステム等 医療情報システムの 開発・販売・導入・保守

沿革

1974年	会社設立
1978年	医事会計システムを開発・販売
2002年	オーダリングシステムを開発・販売
2004年	電子カルテシステムを開発・販売
2004年	本社を東京都に開設
2011年	日本オラクル社とASFU契約
2011年	最新Web型電子カルテシステムを開発・販売
2013年	東京証券取引所マザーズ（現グロース）に上場
2013年	製品ブランド名変更 “PlusUs”へ
2014年	プライベートクラウドシステム稼動
2016年	データセンターを利用した パブリッククラウドシステム稼動
2019年	株式分割
2020年	札幌営業所を開設
2023年	仙台支店を開設

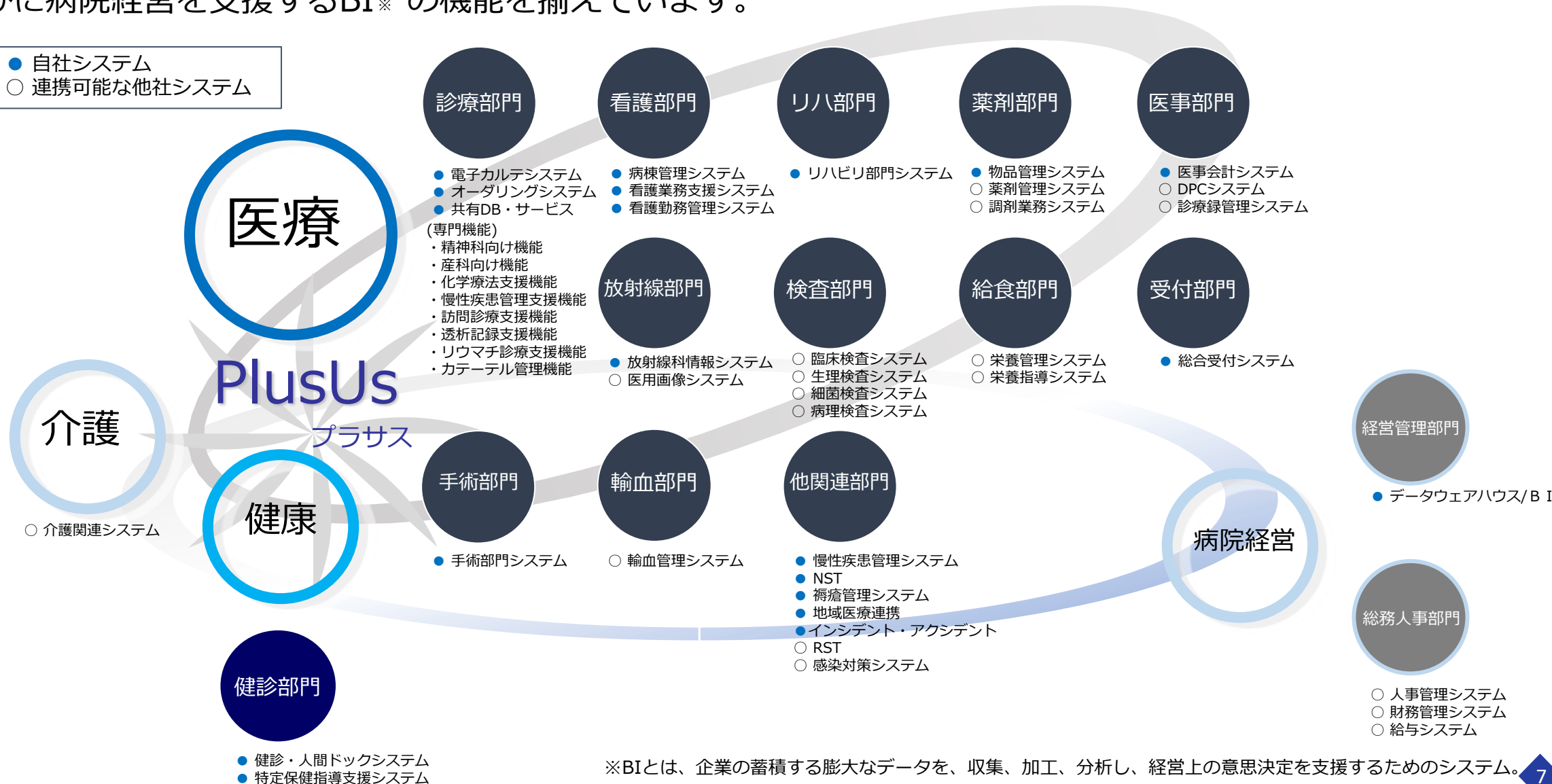


全国16拠点

全国ユーザー数 約**500**施設

医療機関の受付から会計までをカバーする自社システムの豊富なラインナップと、他社システムとの情報連携ならびに病院経営を支援するBI※の機能を揃えています。

凡例：● 自社システム
○ 連携可能な他社システム



※BIとは、企業の蓄積する膨大なデータを、収集、加工、分析し、経営上の意思決定を支援するためのシステム。



- 1 会社の近況及びトピックス
- 2 業界動向（医療DXの進展）
- 3 2023年12月期業績
- 4 2024年12月期業績見通し
- 5 今後の戦略

<ご参考資料>

▶▶ マイナンバーカードと健康保険証の一体化

厚生労働省
第173回社会保障審議会医療保険部会
資料1より抜粋

- ⇒顔認証マイナンバーカードの運用実施（令和5年12月15日導入開始）
- ⇒厚労省から公的医療機関へマイナ保険証専用レーン、担当者配置要請

▶▶ オンライン資格確認等（医療扶助・マイナ受付Web）

厚生労働省保健局
マイナ保険証利用促進支援策等
（令和6年1月12日）より抜粋

- ⇒マイナ保険証利用推進のための医療機関への支援策実施
 - ▶▶ マイナ保険証利用率に応じた支援金
 - ▶▶ 顔認証付きカードリーダー増設支援金
 - ▶▶ 再来受付機、レセプトコンピューター改修費用への支援金

▶▶ 電子処方箋サービス

厚生労働省ホームページより

- ⇒電子処方箋追加機能（マイナンバーカードを活用した電子署名）等

▶▶ 電子カルテ共有化サービス

健康・医療・介護情報利活用検討会
医療情報ネットワークの基盤に関する
ワーキンググループ（令和5年3月29日）

- ⇒全国医療情報プラットフォームの構築にむけた施策開始
 - ▶医療情報化支援基金活用による電子カルテ情報の標準化を普及
 - ▶マイナポータル機能追加（6情報提供サービス構築）

▶▶ 標準型電子カルテ

第1回標準型電子カルテ 検討ワーキンググループ（令和5年12月14日）

- ⇒2024年開発着手、2030年までに概ねすべての医療機関へ導入
- ⇒未導入医療機関含め、電子カルテ情報共有のための支援策の実施

▶▶ 診療報酬DX

第1回標準型電子カルテ 検討ワーキンググループ（令和5年12月14日）

- ⇒2024年 医療機関等の各システム間の共通言語となるマスタ、及びそれを活用した電子点数表を改善・提供
- ⇒2026年 標準型レセコン・標準型電子カルテの提供
- ⇒デジタル化による業務の効率化、人材の有効活用を実現



- 1 会社の近況及びトピックス
- 2 業界動向（医療DXの進展）
- 3 **2023年12月期業績**
- 4 2024年12月期業績見通し
- 5 今後の戦略

〈ご参考資料〉

電子カルテシステムの新規顧客や既存顧客のシステム更新の需要増加、なかでもクラウド型電子カルテシステムの受注増加により増収・増益で着地。

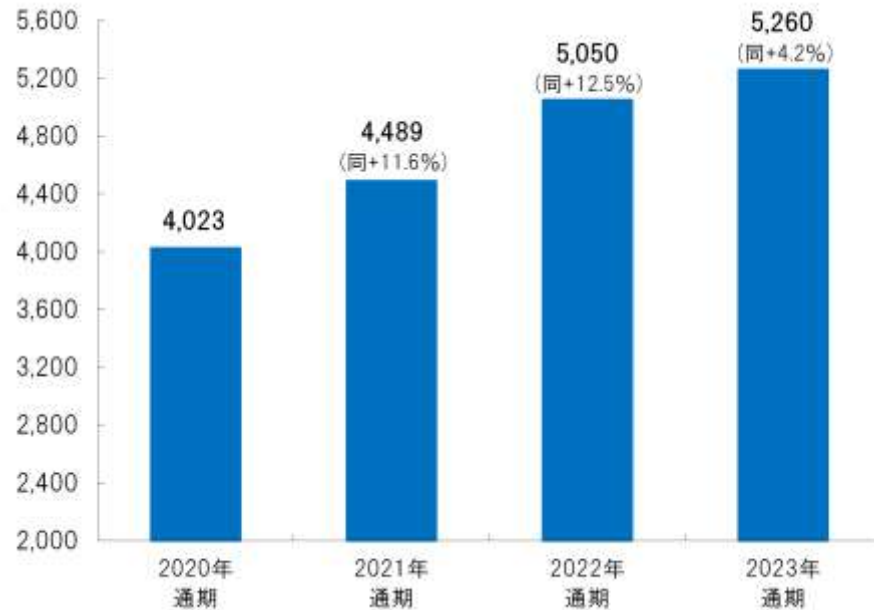
(単位：百万円（配当金を除く）、下段は構成比)

	2022年12月期	2023年12月期		
	実績	実績	対前年比	主な増減要因
売上高	5,050 (100.0%)	5,260 (100.0%)	+ 4.2%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ システムソフトウェア販売高の増加 (+ 97百万円) ◆ ハードウェア販売高の増加 (+ 12百万円) ◆ 保守サービス等売上高の増加 (+ 101百万円)
売上総利益	1,442 (28.6%)	1,565 (29.8%)	+ 8.6%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売上高の増加 (+ 210百万円) ◆ 売上原価の増加 (+ 86百万円)
営業利益	547 (10.8%)	581 (11.0%)	+ 6.1%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売上総利益の増加 (+ 123百万円) ◆ 販売費及び一般管理費の増加 (+ 89百万円)
経常利益	592 (11.7%)	626 (11.9%)	+ 5.6%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 営業利益の増加 (+ 33百万円) ◆ 営業外収益の減少 (▲ 0百万円)
当期純利益	419 (8.3%)	452 (8.6%)	+ 8.0%	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 税引前当期純利益の増加 (+ 31百万円) ◆ 法人税等の減少 (▲ 2百万円)

業績は順調に推移し、売上高、営業利益ともに増加傾向。
 2023年度の売上高は2020年度と比べ31%増加。
 クラウド月額利用料・保守料の伸長により営業利益も向上傾向。
 2023年度の営業利益は2020年度と比べ30%増加。
 2023年度の年間受注高は41億57百万円で前期と比べて17%増加。
 2023年度の期末の受注残高は19億37百万円で前期と比較して25%増加。

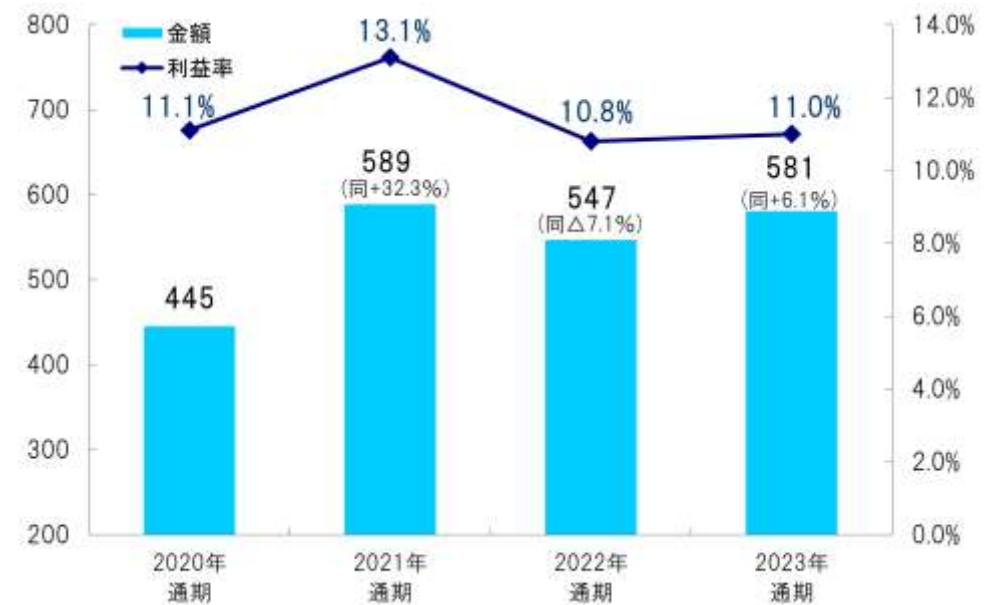
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



(期末配当予定)

	2023年度当初予想	2023年度実施予定
1株当たり配当金	20円	30円

創立50周年を迎えるにあたり10円の記念増配を実施



- 1 会社の近況及びトピックス
- 2 業界動向（医療DXの進展）
- 3 2023年12月期業績
- 4 2024年12月期業績見通し
- 5 今後の戦略

<ご参考資料>

主力の電子カルテに加え、医療DX関連の販売を強化し、受注は堅調に推移すると予想。持続的な中長期の成長のために、きめの細かいサービス提供による既存顧客の満足度向上を目指す。

(単位:百万円(配当金を除く)、下段は構成比)

	2023年12月期	2024年12月期	
	実績	予想	対前年比
売上高	5,260 (100.0%)	5,600 (100.0%)	+ 6.5%
営業利益	581 (11.0%)	657 (11.7%)	+ 13.1%
経常利益	626 (11.9%)	700 (12.5%)	+ 11.8%
当期純利益	452 (8.6%)	462 (8.3%)	+ 2.2%
1株当たり配当金	(予定) 30.0円 (普通配当20.0円) (創立50周年記念配当10.0円)	(予定) 30.0円 (普通配当30.0円)	



- 1 会社の近況及びトピックス
- 2 業界動向（医療DXの進展）
- 3 2023年12月期業績
- 4 2024年12月期業績見通し
- 5 今後の戦略

<ご参考資料>

- 1 会社の近況及びトピックス
- 2 業界動向（医療DXの進展）
- 3 2023年12月期業績
- 4 2024年12月期業績見通し
- 5 今後の戦略
 - 1 未導入医療機関への電子カルテの浸透
 - 2 電子カルテでウェブ技術の強みを生かした事業展開
 - 3 クラウドを含めた柔軟な稼働環境選択肢
 - 4 人材の確保・育成と働き方改革の推進

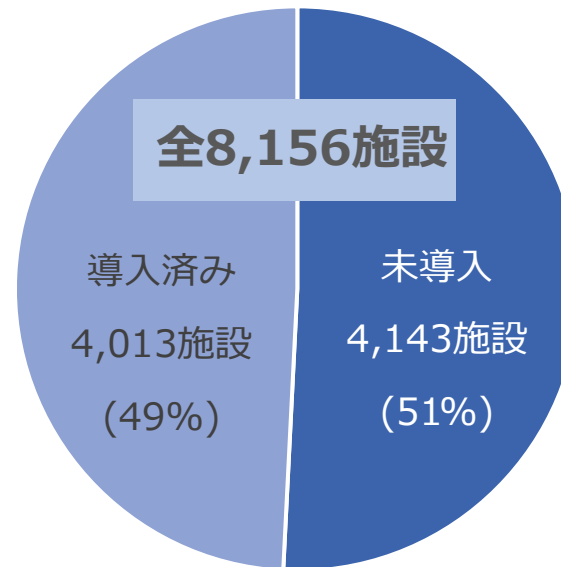
<ご参考資料>

紙カルテを忠実に再現 医療現場の声を活かした 電子カルテシステムで未導入施設にPR

全国の電子カルテシステム病床規模別導入状況

病床規模	施設数	導入施設数	導入率
20~99床	2,913	907	31%
100~299床	3,822	1,963	51%
300床以上	1,421	1,143	80%

※1 出典：月刊新医療「医療機器システム白書2023」を元に集計



電子カルテシステムの
導入施設数

※2 出典：厚生労働省医療施設調査(2022年10月1日時点：病床規模別施設数)

当社の電子カルテ
ユーザー数
281施設
(2023年12月末現在)

1

最新のシステム技術！

インターネット上でも利用出来る最新システム

いつでも、どこでも利用が可能で、訪問診療などに優位なシステム提供が可能です。

2

最新のデバイスで！

端末・デバイスを選ばないシステム

PC・タブレット・スマートフォンで利用が可能です。

3

高保守性！

保守性・メンテナンスの良いシステム

4

高セキュリティ！

個人情報漏洩されにくいセキュリティの高いシステム

端末にはデータが全く残らないシステムです。



クラウドサービスの優位性

1 コスト！

システム投資が負担

初期投資費用の軽減

D C 利用料によるサブスクモデルへ切り替えによる投資の平準化が図られます。

2 2025年の壁！

人材不足・S E 不足

運用管理者不要

D C 管理に切り替わり、サーバ管理者が不要となります。

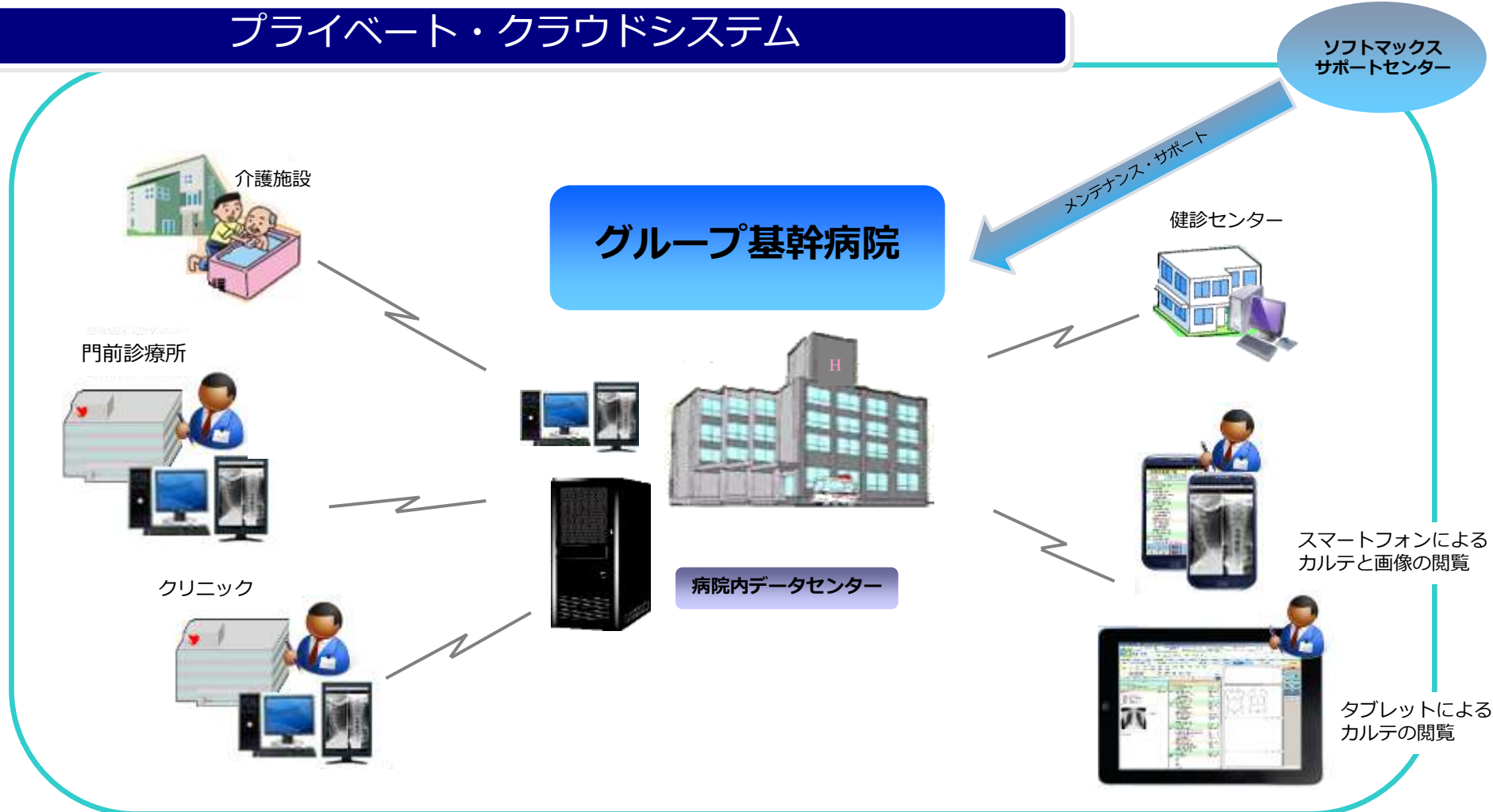
3 安全性！

ランサムウェアの脅威

高セキュリティ対策

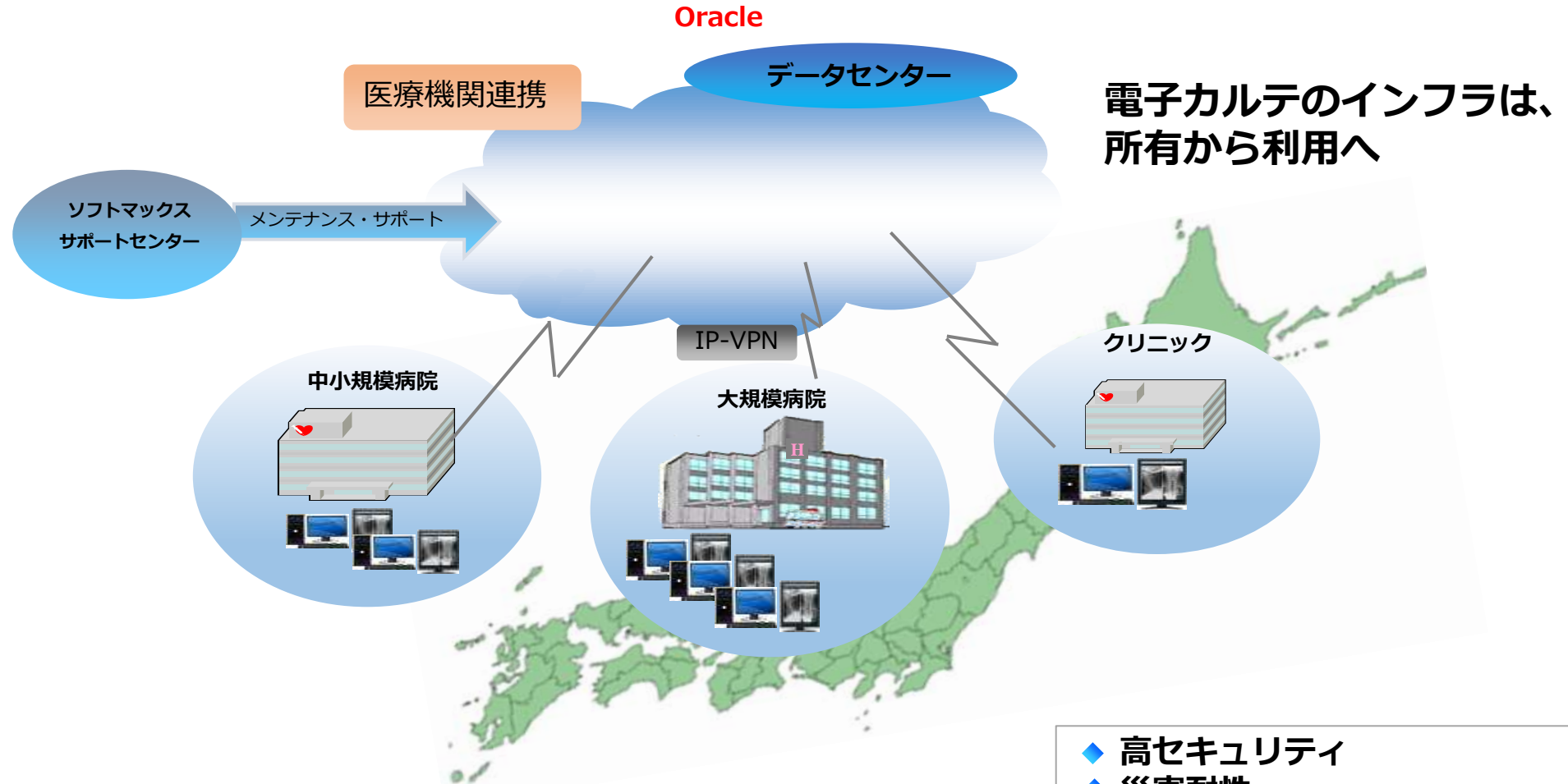
ランサムウェア対策も図られると共に3省2ガイドラインを遵守したD Cの利用でガイドラインの担保となります。

プライベート・クラウドシステム



- ◆ 同一グループによる情報共有
- ◆ サーバ費用の軽減
- ◆ サーバメンテナンスの負荷軽減

パブリック・クラウドシステム



- ◆ 高セキュリティ
- ◆ 災害耐性
- ◆ 初期費用の軽減
- ◆ サーバメンテナンスの負荷軽減

働きがいと働き方改革の推進

積極的な人員採用

	2020年12月末	2021年12月末	2022年12月末	2023年12月末
社員数	181名	196名	209名	227名

社員教育等の推進

外部研修の実施

資格取得の推奨

働き方改革の推進

社員の給与増加 (2022年5月26日付 日本経済新聞にて「初任給を5年前と比べ49%引き上げた企業」として紹介されました。)

女性活躍の場の拡大

男性育休取得率や有休消化率の向上



- 1 会社の近況及びトピックス
- 2 業界動向（医療DXの進展）
- 3 2023年12月期業績
- 4 2024年12月期業績見通し
- 5 今後の戦略

〈ご参考資料〉

	2020年 通期 (実績)	2021年 通期 (実績)	2022年 通期 (実績)	2023年 通期 (実績)	2024年 通期 (計画)
売上高(百万円)	4,023	↗ 4,489	↗ 5,050	5,260	↗ 5600
営業利益(百万円)	↗ 445	↗ 589	547	↗ 581	↗ 657
経常利益(百万円)	↗ 488	↗ 630	592	↗ 626	↗ 700
当期純利益(百万円)	↗ 334	↗ 422	419	452	↗ 462
1株当たり配当金(円) ※1	12.0	↗ 20.0	↗ 30.0	30.0	↗ 30.0
売上高営業利益率(%)	↗ 11.1	↗ 13.1	10.8	↗ 11.0	↗ 11.7
ROE(%)※2	↗ 15.7	↗ 17.3	15.1	14.7	

※1 2023年の期末配当につきましては、30円(うち普通配当20円・創立50周年記念配当10円)を予定しております。

※2 株主資本は期首自己資本と期末自己資本の平均値を使用しております。

◆株式情報

証券コード	3671
上場市場	東京証券取引所 グロース市場
発行可能株式総数	19,338,000株
発行済株式総数	5,999,364株（2023年12月31日現在）
株式の売買単位	100株
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日

◆所有者別株主構成比（2023年12月31日現在）

金融機関	4.1%
金融商品取引業者	1.6%
その他国内法人	34.6%
外国法人等	0.9%
個人その他※	58.9%

※自己株式は、個人その他に含めております。



<https://www.s-max.co.jp>

ソフトマックスは、
クラウド対応Web型電子カルテで
医療DXを推進します。

本資料に記載されている業績見通し等は、現時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、その判断や仮定における不確定要素および今後の事業運営や状況変化等により、実際の業績等とは大きく異なる結果となる可能性があります。

info-ir@s-max.co.jp